



支援金贈呈



災害現場

# 第二十三回 全国消防殉職者慰霊祭

## 九月十六日於ニッショイホール

第二十三回全国消防殉職者慰霊祭が、九月十六日午前十時、日本消防会館ニッショイホールにおいて厳かに行われた。

正面祭壇には、新たに合祀された十一柱の御霊を、

会場には、全国の消防殉職者遺族のほか、米賀の内閣総理大臣(代理)、消防庁長官、全国消防協会会長、消防協力者の代表、多数の国会議員や消防関係者が参列した。

式典は、日本消防協会旗の入場が始まり、徳田日本消防協会会長が御霊の奉納

を、厳粛な言葉が述べられたあと、参列者が故人の冥福を祈り白菊を捧げた。

次に「鎮魂の歌」木やりが江戸消防記念会により奉納された。会長より遺族の方々へねぎらいの言葉、遺族代表のお礼の言葉が述べられ、厳粛かつ盛會裏に閉会となった。

なお、県協会は遺族代表を含む八名が参列した。



発行所  
財団法人愛媛県消防協会  
松山市桑山町1番35号  
電話(921)8517番  
編集者 事務局長  
一部50円

平成16年度  
全国統一防火標語  
火は消した？  
いつも心に  
きいてみて

## ごあいさつ

財団法人 日本消防協会  
会長 徳田 正明

第二十三回全国消防殉職者慰霊祭を挙げるにあたり一言ごあいさつを申し上げます。

我国消防は、明治からの近代消防の歴史を背景に昭和二十三年の自治体消防発足以来、旺盛な郷土愛護と崇高な消防精神に燃えた全国の消防団員により、地域に根ざした防災活動を展開し、広く国民の信頼と尊敬を得てまいりました。

しかし、誠に残念なことでございますが、毎年消防殉職者が発生しており、その御霊は五、三、四七柱を数え、このことに思いをいたすとき耐え難い深い悲しみを覚えるとともに、ご遺族の皆様の胸中はいかばかりかとお察し申し上げます。

また、消防団員の安全指導や消防装備等の充実強化など、公務災害をなくすための事業にも力を入れてまいります。

我々消防人一同は、今日の慰霊祭を機に安全で住みよい社会実現のため精進邁進することが尊霊のご遺徳に報いる道と考え、一層の努力を惜しまないことを謹んでお誓い申し上げます。

終わりに、ご遺族の皆様方のご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

## 新居浜市消防団に 災害支援金を贈呈

### (財)日本消防協会佐山業務部長が来県

(財)日本消防協会では、去る九月二十九日の強い雨を伴った台風二十一号により大きな被害を受け、その災害救助や復旧活動にあたるため、新居浜市消防団員の方々に敬意を表し、そのご苦勞に報いるものであります。

これは、自らも被災者となりながら、地元住民の安全確保のため、避難誘導、人命救助、警戒などの活動に尽力されている、消防団員の方々に敬意を表し、そのご苦勞に報いるものであります。

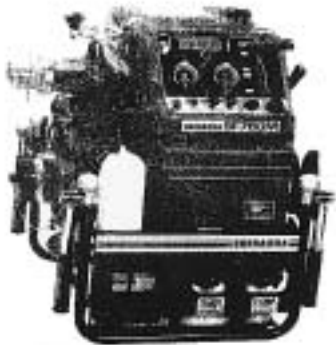
支援金は、九月三十日の午後、同協会の佐山業務部長が来県し、新居浜市消防本部消防長室において、

矢野莞八消防団長に贈呈した。

なお、これには、野村剛県消防協会会長、三浦弘二新居浜市消防長などが同席した。

今回の台風二十一号により、不幸にしてお亡くなりになられた方々のご冥福を、心からお祈り申し上げますとともに、被災者の方々に心からお見舞いを申し上げ、被災地の日も早い復旧を念願するものであります。

## 時代は変わる！次世代シバウラ消防ポンプ



従来の水冷式のイメージ一新

- 完全水冷ラジエーター式
- 背面吸気ポンプ
- 分離給油式潤滑

- 高出力型
- SF760M (S) B-2級60PS
  - SF660M (S) B-3級58PS
- 静音型
- SF755M (S) B-2級54PS
  - SF655M (S) B-3級53PS



## シバウラ消防ポンプ

強制空冷式

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| TF-55 (55PS) B-2級 | TF-15 (15PS) C-1級 |
| TF-40 (43PS) B-2級 | TF-05 (5PS) D-1級  |
| TF-50 (55PS) B-3級 | TF-02 (3PS) D-2級  |
| TF-35 (40PS) B-3級 | クイックバルブ仕様はオプション   |
| TF-30 (34PS) B-3級 | (55PS級.B-3級)      |

シバウラ消防ポンプ愛媛県総代理店

## 有限会社 愛媛芝浦ポンプ商会

TEL 089-933-6355 FAX 089-933-9550  
〒790-0911 松山市桑原2丁目3番19号

### 第四十三回 消防職員初任者教育訓練生卒業式

愛媛県消防学校

平成十六年四月入校し、第四十三回消防職員初任者訓練生五十六名の卒業式が九月三十日(木)愛媛県消防学校(松山市勝岡町井川 治校長)において、愛媛県松山地方局長、関係市消防庁等の来賓を迎え行われた。

式は遅く成長した訓練生の中、校長より一人ひとりに卒業証書及び修了章が授与されつつ、褒章の授与の(後記のとおり)後、学校長より式辞、来賓より祝辞がのべられた。

終わりに、卒業生総代の松山市消防局森出淳一消防士が「社会の安全を担うよう研鑽に励みたい」と力強く謝辞を述べ卒業式が終了された。

式後卒業生は、夫々の所属ごとに、学校長を始め教職員等にお礼と別れの挨拶を交わし、所属の迎いの車で学舎を後にした。



卒業式

#### 努力賞

松山市消防局

- 小山 哲史
- 三好 典子
- 渡邊 亮平
- 川淵 真志

#### 特別賞

松山市消防局

- 中西 渉
- 越智郡島部消防事務組合 消防本部
- 小笠原高裕
- 寺岡 誠

#### 初任教育卒業生

松山市消防局

- 乗松 敏泰
- 小山 哲史
- 戒能 裕紀
- 大塚 英俊
- 森田 淳一
- 片山 仁志
- 三好 典子
- 花咲 智敬
- 清水 亮範
- 渡邊 亮平
- 神田 優作
- 有澤 大樹
- 竹本 祐
- 片岡 満暢



褒章贈呈

### 初任者教育訓練生実技訓練発表会

消防教育初任教育の卒業をまじかに控えた九月二十日、訓練生の父兄や各消防関係者を招き、これまでの訓練の成果を披露した。



耐久訓練



救出訓練終了報告



消火訓練

安全で安心な地域社会づくりに...

## 自治体で家庭用消火器の斡旋と消火器の街頭設置が進んでいます。

住宅防火対策協議会では住宅火災による死者半減を目指しています。ご協力をお願いします。



## 愛媛県消防機器協会

事務局 松山市朝生田町1丁目7番21号  
電話(089)934-4800  
FAX(089)934-5533



## 美しい街 美しい日本をささえる

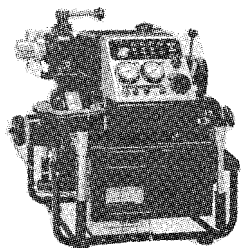
# 充実のVシリーズ

# トーハツ 小型 消防ポンプ

国家検定合格品 / 船用品検定合格品

#### 新機種

- ☆可搬消防ポンプ [水冷式]
- V75E S 形 65馬力 B2級
- V66A S 形 50馬力 B2級
- V56A S 形 48馬力 B3級
- ☆可搬消防ポンプ [空冷式]
- V55A S 形 40馬力 B3級



可搬消防ポンプ  
(ボールロック放水バルブ仕様)

愛媛県総代理店  
株式会社

# ヤマダ

〒790-0062 松山市南江戸1丁目2番26号

TEL 089 (947) 2295  
FAX 089 (945) 3976



# 「消防団の新しい 装備に関する検討会」 報告書の概要

## 消防団は、地域の安全・安心を確保するため、地域における消防防災体制の中核的存在として活動しております。消防団が各災害現場において的確かつ安全に活動するために、消防ポンプ自動車、救急救助資機材、無線機器などの装備は欠かすことのできないものです。

そこで、消防団員が活動しやすい環境づくりを実現し、各地域における災害の実態や消防団の活動状況に適した新しい消防団の装備についての検討を行うため、日本消防検定協会等が中心となり、平成二五年二月に「消防団の新しい装備に関する検討会」(以下「検討会」という)を開催してまいりました。検討会においては、これまで4回にわたる検討・審議が進められてきたところであり、このたび、検討・審議の間に実施した実態調査の結果や、検討・議論の結果を踏まえた報告が行われました。以下、報告書の概要について御紹介いたします。

### 第1 消防団を取り巻く環境の変化

#### I 消防団の役割の変化

- 1 常備化の進展に伴う役割の変化
  - ・市街地の消防団の火災での活動は常備消防と協働もしくは後方支援
  - ・準市街地、その他の地域の消防団は火災の際に中心となって活動
  - 2 地域特性に対応した役割
    - ・風水害、震災等の広範囲に被害が及ぶ災害では

### 第2 新しい装備の方向性

#### I 新しい装備の開発方針

- 1 消防団の活動実態に対応した新しい装備の開発
- 2 既存装備の改良
- 3 現在使用している装備への新しい機能の付加

#### II 消防団の活動実態と課題

- 1 消防団の活動実態
  - ・消防団は、消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車が中心、必要な車両は配置されているが、更新時期の遅れが課題
  - ・消防車両に配備されている主な資機材は小型動力ポンプ、照明装置等であり、発電機、救助用器具の配備の希望が多い。
  - ・消防団に配備されている資機材も小型動力ポンプ、照明装置が中心、希望が多いのは携帯用拡声器、救助用器具、救助用器具
- 2 消防団が装備に求める機能
  - ・団員が求めているのは消防車両の操作性の向上、機動性の向上であり、団員が操作しやすい車両への要望が高い。
  - ・消防車両の装備では、照明装置、水槽についての要望が多い。無給油真空ポンプ等は今後の普及が課題
  - ・資機材については、地域特性に対応した資機材と取扱いの容易な資機材を要望している。
  - ・目的別の装備のユニット化については有効性が評価されている。林野火災用、水災用、震災用等への希望が多い。
  - 3 装備の課題
    - ・操作性の向上と維持管理のしやすさが望まれている。団員構成の変化に対応し、安全面に考慮した装備が必要
    - ・大規模災害を考慮した地域特性に対応した装備の導入が必要
    - ・供給側が必要な装備を製品化し、選択しやすい形態で提供することが必要

### 第3 新しい装備の提言

#### 第3-1 消防防災用車両

#### I 消防団の活動実態と課題

- 1 消防団活動の実態
  - ・火災時は常備消防と協力した活動が中心
  - ・風水害、地震等では危険箇所の警戒、住民の救助・救護を実施
  - ・平時時には訓練、予防啓発活動を中心に活動
- 2 地域特性
  - ・一つの市町村には様々な地域特性があるが、都市又は近郊都市では震災、水災等、農村地域、山間地域では林野火災等への対応が課題
- 3 活動実態から課題
  - ・消防団は消火活動以外にも大規模地震や水害などの地域全体に及ぶ災害の防除や、火災予防広報及び地域行事での警戒活動など、多くの役割を持っている。装備については、各消防団が対応する災害、平時時の活動と関連づけての検討が必要

#### II 消防団の装備実態と課題

- 1 消防団の装備実態
  - ・消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車が中心、必要な車両は配置されているが、更新時期の遅れが課題
  - ・消防車両に配備されている主な資機材は小型動力ポンプ、照明装置等であり、発電機、救助用器具の配備の希望が多い。
  - ・消防団に配備されている資機材も小型動力ポンプ、照明装置が中心、希望が多いのは携帯用拡声器、救助用器具、救助用器具
- 2 消防団が装備に求める機能
  - ・団員が求めているのは消防車両の操作性の向上、機動性の向上であり、団員が操作しやすい車両への要望が高い。
  - ・消防車両の装備では、照明装置、水槽についての要望が多い。無給油真空ポンプ等は今後の普及が課題
  - ・資機材については、地域特性に対応した資機材と取扱いの容易な資機材を要望している。
  - ・目的別の装備のユニット化については有効性が評価されている。林野火災用、水災用、震災用等への希望が多い。
  - 3 装備の課題
    - ・操作性の向上と維持管理のしやすさが望まれている。団員構成の変化に対応し、安全面に考慮した装備が必要
    - ・大規模災害を考慮した地域特性に対応した装備の導入が必要
    - ・供給側が必要な装備を製品化し、選択しやすい形態で提供することが必要

#### III 今後の消防団にふさわしい消防ポンプ車両・各種資機材の提言

- 1 消防ポンプ自動車
  - ・資機材の積載スペースを拡大した消防ポンプ自動車の提案
  - ・消防ポンプ自動車に求められる機能を果たさせるため、自動揚水装置、メカニカルシール、中継圧制御バルブ、無給油真空ポンプ等のオプション機能の充実
  - 2 小型動力ポンプ付積載車
    - ・全自動仕様ポンプの活用による、操作性・機動性及び活動性の向上
    - ・資機材ユニットを積載できる資機材搬送型小型動力ポンプ付積載車の提案

#### IV まとめ

- 1 消防団が求める機能
  - ・団員が求めているのは消防車両の操作性の向上、機動性の向上であり、団員が操作しやすい車両への要望が高い。
  - ・消防車両の装備では、照明装置、水槽についての要望が多い。無給油真空ポンプ等は今後の普及が課題
  - ・資機材については、地域特性に対応した資機材と取扱いの容易な資機材を要望している。
  - ・目的別の装備のユニット化については有効性が評価されている。林野火災用、水災用、震災用等への希望が多い。
  - 3 装備の課題
    - ・操作性の向上と維持管理のしやすさが望まれている。団員構成の変化に対応し、安全面に考慮した装備が必要
    - ・大規模災害を考慮した地域特性に対応した装備の導入が必要
    - ・供給側が必要な装備を製品化し、選択しやすい形態で提供することが必要

#### V その他消防防災用情報装備の提言

- 1 運用に即した新技術の活用
  - ・無線機器関係
    - 1 無線機器の現状
      - ・現在の無線設備で消火活動等は、最低限の活動ができるが、震災・水災等では十分に活動できないとの意見が多い。
      - 2 無線設備の要望
        - ・消防団の保有する無線機は防災行政無線の周波数が多い。
        - ・配備を希望する無線機は消防団員相互の通信への要望が多いことから、消防団波の希望が最も多い。
      - 3 無線活用の実態
        - ・出動指令はサイレン吹鳴、電話連絡網、市町村防災無線が中心で実施
        - ・災害現場では、携帯無線機と並んで携帯電話が使用されている。転機も予想されることから、団員は携帯無線機を要望
        - 4 情報通信機器の活用状況
          - ・携帯無線機、携帯電話のほか特定省電力無線機が活用されている。
          - 5 現状の課題
            - ・無線設備については、使用実態を把握し、増強もしくは新たな通信機器の活用が必要
            - ・現場で一定階級以上の消防団員が相互に通信できる無線機器が必要
            - ・携帯電話については、メール等を活用した新たな通信手段として使用
        - 2 無線のデジタル化に伴う動向と対応
          - 1 市町村防災無線と消防・救急無線のデジタル化動向
            - ・市町村防災無線システムと消防・救急無線システムはデジタル化への移行が進行中
            - 2 消防団におけるデジタル化対応策
              - ・消防団の使用する無線機器は、常備消防、市町村と合わせデジタル化
            - 3 消防団活動における無線の現実的な導入・運用体制
              - 1 消防団に適した無線ネットワーク
              - 2 無線の導入
                - ・災害現場における活動の活用が必要
                - ・現場で一定階級以上の消防団員が相互に通信できる無線機器が必要
                - ・携帯電話については、メール等を活用した新たな通信手段として使用
              - 3 無線の導入
                - ・災害現場における活動の活用が必要
                - ・現場で一定階級以上の消防団員が相互に通信できる無線機器が必要
                - ・携帯電話については、メール等を活用した新たな通信手段として使用



## 防災センター紹介



今回は、徳島県立防災センターを紹介いたします。施設概要は、徳島県板野郡北高町綱浜字大西一六五に位置し、敷地面積は、約三万三千五百四十三平方メートルで、施設内には、消防学校、備蓄倉庫、宿泊棟、屋外訓練施設、屋外訓練場(ヘリ臨時降着場併設)と併設し建設されており、防災センター施設は、過去の南海地震等境にも配慮した施設となっており、徳島県にお出かけの際は、高速道より近くでありますので、ちょっと足を延ばし、施設見学をされ今一度防災への関心を高められますよう、お奨めいたします。

## 消防ポンプ自動車

国家検定合格品

- ★重心が低く重量の分布が適正でありますので運転が至極安全です。
- ★ボデーが丈夫に造られておりますので永年狂いがありません。
- ★エンジンとポンプの調和を保っておりますので耐用命数が非常に延びます。

小川ポンプ工業株式会社

工場本社 松山市余戸中6丁目9番52号 ☎(089)972-2392  
大阪市住吉区万代東1丁目5番22号 ☎(06)693-1221

抜群の 機動性・安定性・耐久性

#### 必要 消防団にあっては、地域内に出場した団員及び消防団との通信手段の確保が必要

#### 4 機器の普及と展望

- 1 出動指令では無線受令機、無線通信機、電話等、現場では携帯無線機等を使用
- 2 今後は、文字表示もしくは再生機能付きの無線受令機、消防団用無線通信機の普及が望まれる。

#### III 携帯電話を活用した情報通信システムの提言

- 1 消防団活動における現状と課題
  - ・団員は現場で携帯無線機は、携帯電話を使用、通信手段が不足
  - ・出動指令は携帯電話を利用することが望まれる。
- 2 携帯電話の活用目的と範囲
  - ・平時時にメールによる連絡手段として活用、気象情報も配信可能
  - ・災害時の一斉配信により、迅速かつ容易に連絡が可能
  - ・初動態勢に必要な情報通信として、消防本部・市町村は、団員への情報伝達手段に、携帯電話の専用ラインによる一斉メール、携帯電話のメールとWebの併用等を検討
  - ・災害現場の状況把握のためGISの活用
- 3 携帯電話を活用した情報通信システムの提言
  - ・現場活動のため、携帯電話を用いた無線LANによるIP電話、携帯電話のGPSを活用した位置情報等の活用
  - 2 情報装備による消防団の活性化
    - ・iモード・UCGサービスによる携帯電話使用料金の公私区分の実施
    - ・SDカードを利用した携帯端末の公私区分の実現
  - 3 今後活用が見込まれる情報通信技術
    - ・複数の周波数に対応できるソフトウェア無線(消防庁ホームページから)

# 平成十六年度 秋季全国火災予防運動 実施要綱

## 一 目的

この運動は、火災が発生しやすい気候となる時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的とする。

## 二 防火標語(平成十六年度全国統一防火標語)

「火は消した? いつも心に さいてみて」

## 三 実施期間

平成十六年十一月九日(火)から十一月十五日(月)までの七日間

## 四 重点目標

- (一) 消防法改正を踏まえた住宅防火対策の推進
- (二) 放火火災・連続放火火災予防対策の推進
- (三) 消火器の適切な維持管理の推進

## 五 推進項目

- (一) 消防法改正を踏まえた住宅防火対策の推進
- ア 住宅用火災警報機、住宅用消火器等の住宅用防災機器等の設置促進
- イ 婦人防火クラブ等の自主防災組織と連携した広報・普及活動の推進
- ウ 高齢者等の災害時要援護者の把握とその安全対策に重点を置いた死者発生防止対策の推進

- エ 地域の実情を踏まえた住宅防火対策推進組織等の整備・充実とモデル事業の推進
- オ 地域住民を主体とした高齢者・障害者等災

## 六 地域の実情に応じた重点目標の設定

- イ 老朽化消火器等の一斉回収
- ア 消防法改正を踏まえた住宅防火対策の推進
- イ 放火火災による被害の軽減対策の実施
- (三) 消火器の適切な維持管理の推進
- ア 消火器の不適切点検に係る予防策の周知及びビジュアル情報の伝達体制の構築

## 七 実施要領

- オ 違反のある特定防火対象物、小規模雑居ビル等に対する違反是正指導の推進
- カ 工場、倉庫等の防火安全対策の徹底
- キ 文化財建造物等の防火安全対策の徹底
- ク 新築・工事中の防火対象物の防火安全対策の徹底
- コ 小規模雑居ビル等の

- (一) 消防庁は、各省庁、各都道府県及び関係団体に協力を依頼し、また、テレビ、ラジオ、新聞、インターネット等の各種媒体を通じて、火災予防ポスターを全国に配布するなどの広報を行う。
- (二) 都道府県は、各市町村及び関係団体に協力を依頼し、また、テレビ、ラジオ、新聞、インターネット等の各種媒体を通じて、火災予防ポスターを全国に配布するなどの広報を行う。
- (三) 市町村は、関係団体に協力を依頼し、また、各種媒体を積極的に活用した広報を行うとともに、地域の実情に応じて、消防団、自主防災組織等各団体、福祉

### 平成16年火災発生状況(8月分)概況 愛媛県

区 分	単 位	本 年		前 年		比 較
		8月分 (A)	本年累計 (1月~8月) (B)	8月分 (C)	前年累計 (1月~8月) (D)	
発 生 件 数	件	24	420	50	424	△ 26
内 訳	建 物	20	269	35	274	△ 15
	林 野	0	24		19	0
	車 両	2	38	6	41	△ 4
	船 舶	0	2	1	3	△ 1
	そ の 他	2	87	8	87	△ 6
損 害 額	千円	80,903	920,726	107,085	654,799	△ 26,182
内 訳	建 物	74,452	888,255	100,282	616,448	△ 25,830
	林 野	0	1,340		12,237	0
	車 両	1,470	12,291	775	14,420	695
	船 舶	0	541	110	835	△ 110
	そ の 他	4,981	18,299	5,918	10,859	△ 937
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	1,243	15,056	1,962	13,965	△ 719
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	76	1,295	211	828	△ 135
林野焼損面積	a	0	273		1,125	0
建物焼損棟数	棟	37	392	57	372	△ 20
り 災 世 帯	世帯	29	256	32	221	△ 3
り 災 人 員	人	89	657	87	626	2
死 傷 者	人	7	92	17	87	△ 10
内 訳	死 者	0	24	1	29	△ 1
	負 傷 者	7	68	16	58	△ 9

(注1) 爆発はその他に含めている。  
(注2) 本年の数値は速報値を取りまとめたものであるため今後数値がかわる可能性がある。



# 安心!

- 各種消防設備保守点検
- 24時間体制ビル設備監視システム
- 火災通報装置工事保守点検
- 各種消防設備設計・施工
- 各種消火器簡易消火設備販売
- その他各種防災用品非常食販売

ご相談・ご用命は...

## (株) 四国消防設備保守センター

〒790-0952 松山市朝生田町1丁目7番21号  
電話(089)934-4800  
FAX(089)934-5533

## MORITA SUPER GYRO LADDER



- 各種消防ポンプ自動車
- 消防救助艇
- 消防、防災ヘリコプター
- 消防機器、消防服装
- 救急医療資器材、医薬品
- 各種消火器、消火設備

## ニーズを先取りする ジェットホース

ソフト・軽量・操作性抜群 “光輪付き”

## ライトα シリーズ



## ラビット消防ポンプ

ダイヤモンドフジ・シリーズ



B2級~D2級まで多彩なバリエーションをラインナップしました。



## 株式会社 岩本商会

本 社 松山市大手町1丁目10番地1  
倉 庫 松山市姫原3丁目5-16  
出張所 高松・宇和島・川之江

TEL 089 (947) 2111  
FAX 089 (947) 2116  
TEL 089 (924) 4015  
FAX 089 (924) 4015